

東京科学大学歯科東京同窓会
令和8年度 第3回 学術講演会

歯科東京同窓会
会員限定



講師

東京科学大学大学院医歯学総合研究科
口腔機能再構築学講座 歯髄生物学分野 教授

八幡祥生 先生

材料工学からみた ニッケルチタン ファイルの進化

◎日時：令和8年11月4日(水) 19:30~21:00

◎会場：東京科学大学 湯島キャンパス 1号館9階 特別講堂

〈講演抄録〉

ニッケルチタンファイルは、優れた柔軟性を背景に湾曲根管への追従性を飛躍的に高め、臨床に定着してきました。近年のシステムでは使用本数を抑えつつ再現性の高い根管形成が可能となり、術式の簡素化と時間短縮が図られています。この発展を支えてきたのが、合金の熱処理技術と器具の改良という二本の柱です。演者は臨床への普及が進みつつあった時期に生体材料工学研究所金属材料分野で本合金の材料研究に従事し、そこで取り組んだ熱処理による改良技術は現在の世界標準として多くの製品に採用されています。本講演では、こうした器具設計の背景を、結晶構造と力学特性という材料工学の視点から整理し、日常臨床に落とし込んでいきたいと思います。

〈講師略歴〉

【略歴】

2005年 岩手医科大学歯学部 卒業
2009年 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 修了／博士(歯学)
東京医科歯科大学歯学部附属病院 医員
2012年 昭和大学歯学部 歯内治療学部門 助教
2014年 米国ウェストバージニア大学 歯内療法学講座 客員助教
2015年 米国国立標準技術研究所 客員研究員
2018年 東北大学病院 保存修復科 助教
2021年 東北大学病院 歯内療法学 講師
2023年 東北大学大学院歯学研究科 エコロジー歯学講座
歯科保存学分野 准教授

2025年 東京科学大学大学院医歯学総合研究科
口腔機能再構築学講座 歯髄生物学分野 教授
現在に至る

【所属学会】

■日本歯科保存学会（指導医、上級医） ■日本歯内療法学会
■日本炎症・再生医学会 ■日本顕微鏡歯科学会
■American Association of Endodontists

■ご参加希望の先生は、右記QRコードよりお申し込みください。

(参加費無料 定員80名 申込先着順)

申込締切 10/30金

入力いただいたメールアドレスに受講確認メールが届きます。
当日はそのメールを提示してください。

